



金融取引能力の見える化（キャンパス）

2024年3月19日
第1回SIP包摂的コミュニティプラットフォームシンポジウム

京都府立医科大学大学院医学研究科
精神機能病態学
成本 迅

自己紹介



1995年京都府立医科大学卒
京都府立医科大学附属病院精神神経科研修
2001年京都府立医科大学大学院卒
複数の病院勤務、京都府精神保健福祉総合センター勤務
2005年京都府立医科大学精神医学教室
助教、講師、准教授を経て2016年より現職

京都府立医科大学大学院教授
精神科医、認知症専門医

日本意思決定支援推進機構理事長
日本老年行動科学会理事長
消費者庁新未来創造戦略本部客員主任研究官
日本老年精神医学会理事
日本金融ジェロントロジー協会技術顧問

認知症700万人時代に備える ① 成本迅 京都府立医科大学教授

医療福祉と企業の連携カギ

企業と連携するために必要なこと	課題内容の例
認知 ※情報を正解に理解できるか	※必要な費用も理解できているのか ※認知（サイン）を正確に理解できているか ※契約の条件を正確に理解できているか ※契約の条件（利用、やめ、更新）の細目を理解できているか
判断 ※権利への影響も理解できているか	※契約、購入の理由が明確に伝えられるか ※契約間で意思の変更がないか
協力の意思 ※自らが自覚した選択ができるか	
適切な説明 ※疑わしき方向を代えたりする	

ポイント

- 高齢者の能力に依り自律的の生活の保障を
- 金融機関職員の認知症対応力向上が必要
- 企業が顧客の発症後の支援で担う役割大

（以下、記事本文の抜粋）

2023年11月3日
日本経済新聞



認知症の理解（医学的見地から）

- 主な認知症ごとの特徴
- 地域連携、多職種連携の必要性

知っておくべき基本知識

- 高齢者とのコミュニケーションのとり方
- 高齢者との信頼関係の築き方
- 意思決定能力とは
- 金融機関における認知症気づきのポイント
- 金融機関と公的支援窓口との連携

今すぐ活かせる！ ケース・スタディ

- 「通帳や印鑑を繰り返しなくす」
- 「経済的虐待」
- 「詐欺被害」

金融機関の困りごと〔対面編〕

- 来店目的不明で長時間銀行に居続けるケース
- 何度もかけてくる電話への対応
- 預金を盗られたという訴えへの対応
- 本人の認知機能の変動しているケース
- 決められない本人に代わって、家族が預金解約を希望するケース
- 本人が成年後見制度の利用を拒否するケース
- 家族間の意見の対立があり、本人が特定の家族の言いなりになっているケース

金融機関の困りごと〔訪問編〕

- 長くお付き合いのある顧客宅を訪問したら、以前と様子が違うケース
- 長くお付き合いのある顧客が保険料を滞納するケース
- 長くお付き合いのある顧客が、最近、自動車事故を頻繁に起こすケース

金融機関が準備できること

- リスク性商品の売買を行う場合
- 金融機関の組織的な対応方針について

認知症の原因となる病気

脳が痩せる病気

- アルツハイマー型認知症
- レビー小体型認知症

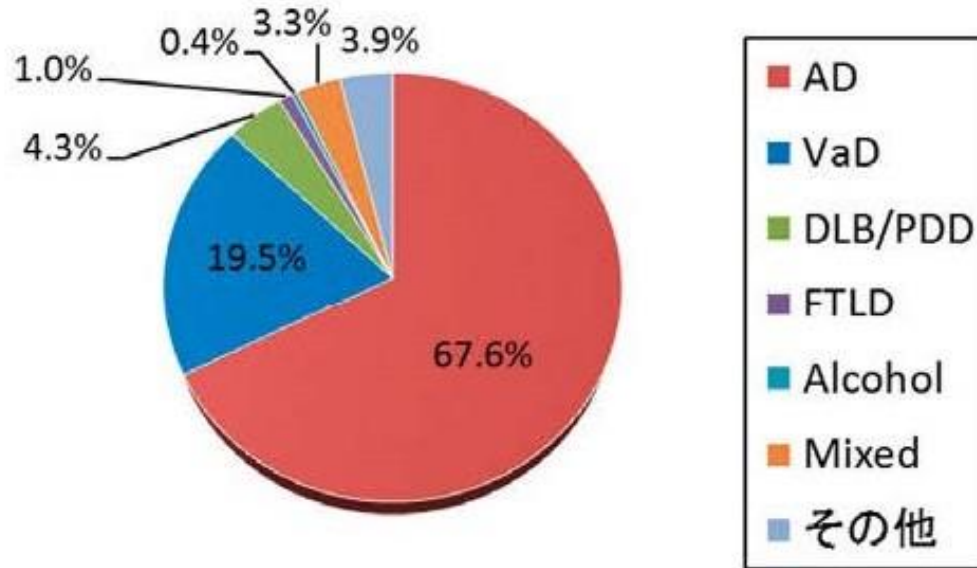
脳卒中の後遺症

- 血管性認知症

その他

- 脳腫瘍・正常圧水頭症
- アルコール・薬剤性

認知症の基礎疾患の内訳

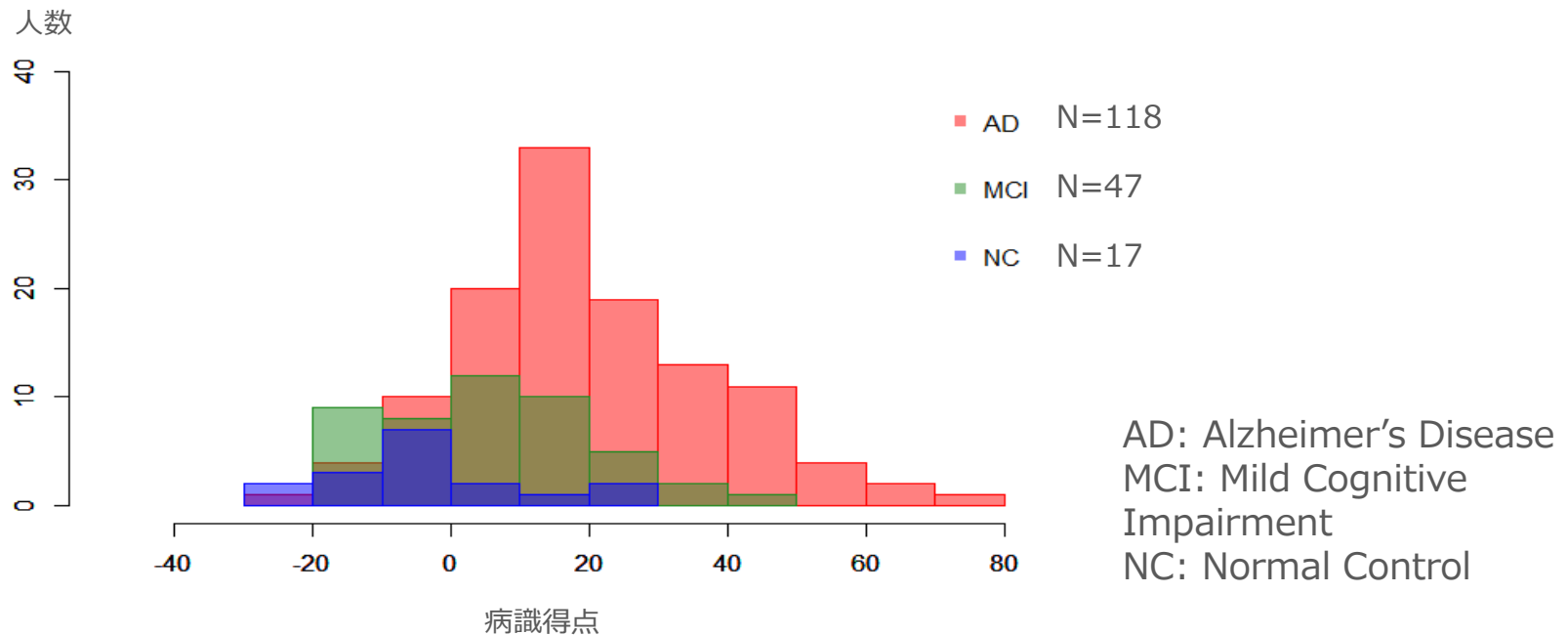


疾患別内訳 (N=978)

図9 認知症の基礎疾患の内訳 (面接調査で診断が確定した者 978名)

認知症による能力低下に自分は気づかない

- 認知症発症の2.6年前から自分の記憶障害を認識しなくなる
(Wilson RS et al., Neurology, 2015)
- アルツハイマー型認知症患者では、自らの記憶力を家族の評価より高く見積っている
(Oba, Aging Ment Health 2018)



実務に必要な判断能力評価

- 当該契約について十分な理解、判断能力が保たれていることを確認し記録に残す

判断能力評価の手法

- 観察式チェックリスト
- 活動のモニタリング
- 認知機能検査（対面、アプリ）
- 契約そのものについての判断能力評価
- 医師の診断書

改訂長谷川式簡易知能スケール

1. お年はいくつですか
2. 今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？
3. 私たちが今いるところはどこですか？
4. これから言う3つの言葉を言ってください。後でもう一度聞くので覚えておいてください
5. $100 - 7$ 、そこから7を引く
6. これからいう数字を逆から言ってください
7. 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度いってください
8. 5つの物品の記憶
9. 野菜の名前をできるだけたくさんいってください

確認内容の例

理解

→情報を正確に理解できるか

- 必要な費用を理解できているか
- 支払い(タイミング等)を理解できているか
- 契約やサービスの内容、期間を把握できているか
- 契約の条件を認識できているか
- 契約の取消や苦情申立ての窓口を知っているか

認識

→自分への影響を把握できるか

- 契約・購入後の生活の変化が分かっているか

論理的思考

→自分に合った選択ができるか

- 契約・購入の理由を明確に答えられるか

選択の表明

→揺らぎなく意向を伝えられるか

- 短期間で意思の変動がないか



> 金融取引能力評価ビデオ

株式投資などの複雑な契約を行う際、本人の判断能力を確認する方法を解説しています。

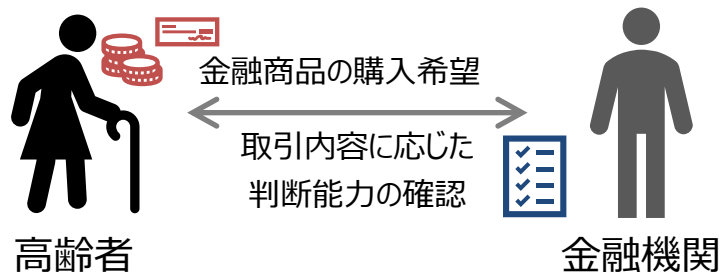


成約パターン(投資信託成約)



謝絶パターン(投資信託未成約)

想定される利用シーン (仮説)



能力評価

- 金融商品の内容の「理解」
- 取引が自身に与える影響の「認識」
- 自身の資産状況に合った「論理的思考」
- どのような取引を希望するか「選択の表明」

結果と対応

- 「取引可」⇒本人との取引を開始、継続
※「可」の場合も、半年～1年に1回程度の定期的な能力の確認機会を設ける。
同様の仕組みを持つ金融商品であれば、一定期間は再評価不要とする。
- 「要注意」⇒本人の同意を得て家族に同席を依頼
※本人のみとの契約が難しい場合も、現状の資産を安全に継続・活用できる仕組みを検討・開発。

【技術開発のポイント】

- 医療における意思決定能力評価 (医療同意能力評価) の理論を用いて、本人の金融取引における判断能力を、取引内容ごとに客観的に確認する。

【高齢者や家族にとってのメリット】

<本人のメリット>

- 判断能力の「お墨付き」をもらうことで、自分の意思で、自律的な金融取引、資産活用が継続できる。

<家族のメリット>

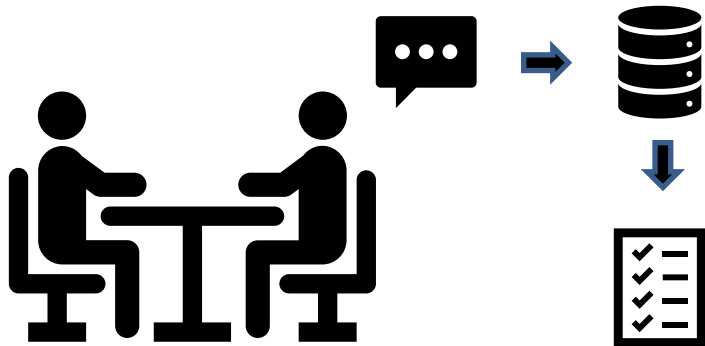
- 本人の様子から推測していた能力の状態を「客観的に知ることができるため、「遠方に住む家族の負担軽減」にもつながる。

【金融機関にとってのメリット】

- 75歳以上の高齢顧客との取引時に求められる「上席者の確認」や「家族同席」による勧誘のステップが省略できる可能性があり、コストダウンにつながる。
- 「安全な資産運用」により、高齢者の保有資産を活かすことができる。

- ・ 発明の名称__意思決定能力評価装置、システム、及びプログラム
- ・ 特許登録番号__7116515
- ・ 特許登録日__2022/8/2
(JSTの支援を得て国際特許出願中)

顧客の会話を自然言語処理により分析することで、当該取引に必要な能力があるかを判定



金融取引能力の評価法の開発

要素	評価項目	評価基準
理解	商品の特徴	投資信託であることを理解しているか
	預金の特徴	預金のメリットとデメリットを理解しているか
	投資信託の特徴	投資信託のメリットとデメリットを理解しているか
	商品の投資先	どこに投資するものであるかを理解しているか
	価格変動のリスク	商品の価格に影響を及ぼす要素と仕組みを理解しているか
	手数料	手数料がかかるタイミングと料率を理解しているか
論理的思考	お金を増やしたい場合の判断	欠点を踏まえて目的に応じた投資信託と預金の選択ができるか
	お金を減らしたくない場合の判断	欠点を踏まえて目的に応じた投資信託と預金の選択ができるか

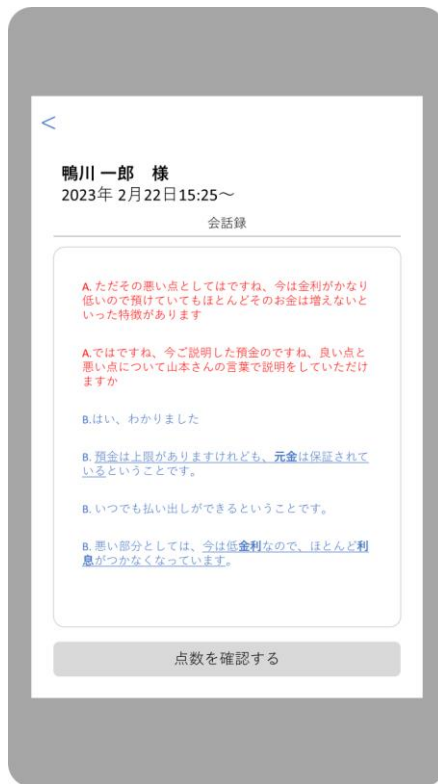
理解の質問例

「今、ご説明した投資信託の良い点と悪い点について、〇〇さんの言葉で説明していただけますか？」

現時点で75歳以上の健常
被検者28名中
満点17名、1失点4名

回答を専門家（医師、心理士）により採点（18点満点）

サービス品質向上のため、
お取引確認書の会話を記録させていただきますね



ご清聴ありがとうございました